

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-510607 (P2005-510607A)

【公表日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-547500 (P2003-547500)

【国際特許分類】

C 0 9 D 183/08 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 3 C 17/30 (2006.01)

C 0 4 B 41/84 (2006.01)

C 0 9 D 201/02 (2006.01)

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 183/08

B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y

C 0 3 C 17/30 B

C 0 4 B 41/84 A

C 0 9 D 201/02

C 0 9 K 3/18 1 0 3

C 0 9 K 3/18 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 19 日 (2005.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 式 I の、少なくとも 1 種類の自己乳化性フッ素化アルコキシシラン、
 $R_f^1 - [- Q - [Si Y_{3-x} R^1_x]_z]_y$ (I)
 { 式中、 R_f^1 は、一官能性又は二官能性フッ素化基を表し、
 Q は、独立して、有機二官能性又は三官能性結合基を表し、
 R^1 は、独立して、 $C_1 \sim C_4$ アルキル基を表し、
 Y は、独立して、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ基、又は構造式 $- O - A - R^3$ の親水性アルコキシ基を表すが、但し、少なくとも 1 つの Y が前記親水性アルコキシ基であり、式中、各 A は、独立して、a) 式、 $(CH R^2 - CH_2 O)_q$ (式中、q は、1 ~ 40 の値を有する数であり、 R^2 は、独立して水素又はメチルであり、 R^2 の少なくとも 70 % は水素である) を有するか、又は (b) 1 つの OH および 1 つのヒドロキシル水素を除去することにより、ポリオール、又は、そのアルキルエーテル又はポリエーテル誘導体から誘導される、二官能性親水基を含み、
 および、式中、 R^3 は独立して、水素、又は炭素原子数 1 ~ 4 の低級アルキル基であり、
 x は、0 又は 1 であり、
 y は、1 又は 2 であり、
 z は、1 又は 2 である }、および

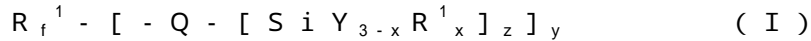
(b) 少なくとも 1 種類の水と完全に混和性の有機補助溶媒と少なくとも 1 種類のフッ

素化界面活性剤のうち的一方又は両方、
を含む均一な混合物を含む、希釈可能な非水性濃縮物。

【請求項 2】

a. 水、又は、水と少なくとも 1 種類の有機補助溶媒とを含む水性溶媒混合物を含む、
希釈媒体、および

b. i. 式 I の少なくとも 1 種類の自己乳化性フッ素化アルコキシシラン、



{ 式中、 R_f^1 は、 $-(C_n F_{2n})-$ 、 $-(C_n F_{2n} O)-$ 、 $-(C F(Z))-$ 、 $-(C F(Z) O)-$ 、 $-(C F(Z) C_n F_{2n} O)-$ 、 $-(C_n F_{2n} C F(Z) O)-$ およびこれらの組合せからなる群から選択される過フッ素化繰り返し単位を含む、一官能性又は二官能性パーフルオロポリエーテルを表し、式中、Z は、フッ素原子、パーフルオロアルキル基、酸素置換パーフルオロアルキル基、パーフルオロアルコキシ基、および酸素置換パーフルオロアルコキシ基であり、そして、式中、n は 1 ~ 6 であり、

Q は、独立して、有機二官能性又は三官能性結合基を表し、

R^1 は、独立して、 $C_1 \sim C_4$ アルキル基を表し、

Y は、独立して、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ基、又は構造式 $-O-A-R^3$ の親水性アルコキシ基を表すが、但し、少なくとも 1 つの親水性アルコキシ基がフッ素化アルコキシシラン中に存在し、式中、各 A は、独立して、a) 式、 $(CH R^2 - CH_2 O)_q$ (式中、q は、1 ~ 40 の値を有する数であり、 R^2 は、独立して水素又はメチルであり、 R^2 の少なくとも 70 % が水素である) を有するか、又は (b) 1 つの OH および 1 つのヒドロキシル水素を除去することにより、ポリオール、又は、そのアルキルエーテル又はポリエーテル誘導体から誘導される、二官能性親水基を含み、

および、式中、 R^3 は独立して、水素、又は炭素原子数 1 ~ 4 の低級アルキル基であり、

x は、0 又は 1 であり、

y は、1 又は 2 であり、

z は、1 又は 2 である }、および

ii. 少なくとも 1 種類の 水に完全に混和性の有機補助溶媒 と少なくとも 1 種類のフッ素化界面活性剤のうち的一方又は両方、
を含む、均一な混合物を含む希釈可能な非水性濃縮物、
を含む水性希釈液。

【請求項 3】

基材に請求項 2 に記載の水性希釈液を塗布する工程、および前記水性希釈液を硬化させる工程を含む、基材の処理方法。

【請求項 4】

a. 基材、および

b. 請求項 2 に記載の水性希釈液を前記基材上に塗付し、前記水性希釈液を硬化させることにより得られる、前記基材上の塗膜、
を含む物品。

【請求項 5】

前記基材が ガラス、セラミック、又は、反射防止フィルムの少なくともいずれか 1 つ を含む、請求項 4 に記載の物品。